

より多くのなかまを職場で迎えよう

2021年4月5日号
第211号

毎月2回5日・20日発行

発行所

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359
URL : http://kokkoroso.or.jp/
発行者: 安藤 高弘
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2021年4月5日 国交労組 第211号 (通巻1367号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

国交労組

ようこそ 国土交通労組へ



労働組合への加入を待っています!

なかまに加わって働きやすい職場をめざそう

国土交通労働組合(以下、国土交通労組)は新たに職場に配属されたみなさんを心から歓迎します。国土交通労組では職場環境の改善のために、様々な活動にとりくんでいます。ひとりでは解決できない悩みや不安は、同じ職場で働くなかまに相談し、ともに考え、労働組合をつうじて行動することによって、解決につなげていくことができます。

国土交通労組のなかまとなって、みんな働きやすい職場をめざしませんか?

働く環境が悪ければ
国民の安全・安心は
守れない

局、空港や気象台、自動車
検査場や研究施設、教育
機関などの国土交通行政
に携わる職員で構成する
労働組合です。国土交通
行政は、インフラや交通



当局と交渉し、職場の実情を訴え改善を求める

たくさん集まる労働組合であれば、当局にとっても無視できないものとなり、働きやすい職場がつくりあげられていきます。そして、誰かが困っているときに手を差し伸べることができ、自分が困ったときにはたくさんなかまが支えてくれます。また、労働組合では組合員同士の交流を目的としたレクリエーションを地域、全国規模で行っており、普段の職場では会えないような広範なかまを知り合い、お互いの悩みや問題を相談することもでき、同じ世代のなかまを含めた交流ができます。

国土交通労組は、日本全国にある整備局や運輸局、空港や気象台、自動車検査場や研究施設、教育機関などの国土交通行政に携わる職員で構成する労働組合です。国土交通行政は、インフラや交通

個人に責任を押し付ける風潮は許さない

働くうえでは、業務に直接関係することではなくても、人間関係だったり、自分の働き方や暮らしについて悩みごとが出てくることもあると思います。いま、職場では、ワークライフバランスや両立支援制度の有効活用など、仕事と生活の調和をすすめるようになっています。職員が減らされ続け

このからみなさんは国土交通行政を担う一員として業務を行っていきま

最初は何もわからな

ことが多く、研修や職

場の先輩からいろいろな

ことを学び、できること

労働組合は助けあい
ささえあう組織

相談が寄せられていま

一つひとつの課題を

解決していくことはもち

ろん、問題を根本的に解

決する制度をつくらなけ

ればなりません。こうし

たもとで、労働組合は職

場になくってはならない

のであり、頼りになる存

在です。

なかまが少なければ、

本当に困ったときに私

明日へ

新年度が始まり職場では新しいなかまも顔を出してくれています。

新しい予算が執行されることになりませんが予算については国民のための予算なのかどうか見極めることが必要です。やはり国民の最大の関心事はコロナをいかに終わらせるかではないでしょうか。コロナ対策に予算を充てていますが、本当にこれで十分なのでしょうか。一方、緊急事態宣言が解除された東京では人出がかなり戻ってきているように感じます。先日、休業していた近所の焼き肉屋さんが再開していました。チェーン店とは違い家庭的で好きなお店です。コロナ不況で本当に再開してくれるのか気にしていました。なんと再開してくれました。近所の小さなお店ですが、個人経営の店では、生活にかなり影響しています。▼政府は自己責任と言わんばかりに「自助」という言葉をしきりに使っていますが、他人の力を借りることなく、自分の力で切り抜けるという意味があります。しかし、決して行政の責任を放棄するという意味はありません。十分な保障と感染拡大防止をみんなで乗り越えたいですね(T)